

いわざ民報 所行發 社報民きわい 社報民きわい 社報民きわい

富ヶ浦病院 院長 安田善一 小名濱町電三三番

炭礦の援護金大幅引上げ 勞務者援護金支給に決定

ため、炭礦勞務者援護資金を今度次の如く引上げると同時にその支給事務手續の簡易化をはかることに決定した、本年は勞務者二十万人と見て四百萬圓を計上する一面十九、二十年度の剰余金の活用により、最低二割から最高四割の引上げをなすと共に、四月一日適及實施することになったものである(括弧内現行額、單位圓)

村制改革に青年立つ 噴火上に立つ小川組合村 村議青年の對立漸く深刻化

上下小川組合村青年有志は民主主義の、今後なほ相當の波瀾曲々義國の建設は行政機關の末折は免れ得まいとみられてゐる

年大會の席上、かゝる問題を惹起せるは結局村長の不徳の致すところなりとして全責任を負ひ即時辭任する旨を聲明した

前校長等の追放も要求

組合村小川の神田の收米米開毛へ疎開して来た草野ヨシ(四八)が去る三月既に歸宅した

民主人民聯盟 結成大會

廿六日公會堂に 警城民主人民聯盟の結成大會は、廿六日午前十時から平市公會堂日本間に開催する、當日は結成後評議員並に常任委員の選任等も行ふが全聯盟の事務一切は常任委員に書記局を設置してこれに當る、全局内には情報、答を凡ゆる城の言葉を以つてしたる事は村民の指導的立場にある關係職員の行爲としを認め難し

空地 食糧増産組合を 平市が各區内會毎に結成 指導其他本格的に乗出す

食糧増産が反映して空地利用の減少も余計に收獲がある受持つ任務はますます大きくなやうにと今度各區内會単位に空地利用食糧増産組合を組織させ

幽霊を摘發

川前村種養製業福田キチ(二八)は昨年七月茨城縣から同人宅へ疎開して来た草野ヨシ(四八)が去る三月既に歸宅した

好天氣

肌寒く感じても 氣温はやや高い 去る二十日吹きまわつた強風で石城地方の農作物も痛手を被りその後降雨があれは回復も早

燃料難も解決

山元の滞貨一掃 山元の滞貨を一掃して平地方の燃料不足を救ふため平署では澤雨の見込みはありませぬ、然燃料不足を救ふため平署では澤雨の見込みはありませぬ、然燃料不足を救ふため平署では澤雨の見込みはありませぬ

鏡小名濱臨時 町長代理歸福

町長と町議の運轉代行を行つて以來約半年間小名濱町の臨時町長代理として多難な町政の運轉に當つた鏡又七氏は志賀新町長との事務引継ぎを終へたので二十三日十二時四十分小名濱臨時町長を歸福したが町は慰勞金三千圓を贈つて氏の勞を惜つた

生活援護を受けるを恥するな

生活援護を受けるを恥するな 生活援護を受けるを恥するな 生活援護を受けるを恥するな

小名濱港の修築を陳情

修築を陳情 修築を陳情 修築を陳情

引揚者聯盟 小名濱支部

引揚者聯盟 小名濱支部 引揚者聯盟 小名濱支部

言寸きわ

言寸きわ 言寸きわ 言寸きわ

小名濱港の修築を陳情 修築を陳情 修築を陳情

最近の満洲事情を聴く

引揚げ第一陣 福原フミ子さん

滿洲引揚の第一陣に選んで錦州から福原フミ子さん(一九)が長男の雄一(一〇)次男康幸君(三)を連れ同じ引揚者で北海道へ歸る小野三三さん(三三)と一緒に二十三日平驛へ下車したが尋ね先が不明で弱つてゐる、そのわけは福原さんの夫君幸一氏は出征中で留電、頼るものも無いので幸一氏の實兄に當る幸雄氏が常務炭田に働いてゐることを記憶してゐたので頼つて来たもの、引揚者警備隊では早速各炭礦へ紹介する一方驛前の伊達屋旅館に可哀想な母子を泊め今後の生活についても種々相談してやることになつた、以下はその福原さんと小野さんが互々語る最近の滿洲事情である。

食糧は案外に充分

但し自活制度のために苦勞

診察以來引揚が始まるまで錦州、それも暫くの間で團體生活、州省にある北票炭礦に約二千五に入つてからはそんな馬鹿なな百人の團體を作つてつと踏しねをする者もなくなり、またつてをりました、現地では捕團休日の大半婦女が占めてゐた勝を日僑(一在留邦人)と日僑の風紀上の問題は相當深刻に浮(軍人、軍属)の二つに分けて考へさせられました、なほ一をりましたが捕虜監理所がこれ部には中國人相手に料理店へ出を監督してをり奉天がその本部入するものもありました、然し食糧はめい、各自が自活をし選ばなければならぬ道でもあ

北滿は全くの暗黒

引揚げ見込みも全然不明

こう云つた生活は奉天以南は夫の特に關心を寄せてをりました、北滿の情報は相當マも飛んで案外思想的な反感はなく、今後全く暗黒の儘ですが、ただ滿語は彼等と單純な氣持で交際が出のラオオや共產軍の放送等を聴くと思ひます、取すると長春へ新京以北は全然引揚げの見込みがないらしい、また通化の山奥に逃げ込んだものの中にはまだ相當隠れてゐる者もあると云つて、こう云つた山奥に入つて仕舞ふと内地と違つて喰物には困らない現地で多は例年にならぬかきだつたので丸裸組も比較的助かつたと思ひます、一般に滿人も今迄は日

断髪男装

風紀上の問題はつきり申あげ難い、終戦時は女といふ女は全部頭髪を切つ丸坊主にした上男装仕度で鍋炭をぬつてる始

開放

女學生教育

▼：警女、平女共に四月から新校長を迎へて校内外ともに一新したかの感じが深い、校内外に於ける生徒の指導について従前よりも一層關心を深められて居られることに對しては感謝に堪えない、だが全体的に最近余も殊更らに生徒を過重に動員し國民が一人残らずせつくと働いたら良いではないかと思ふので、その点現地で考へた内

古今集雜記

千輝 克己

古今の歌は眞に永遠性價値のあるものは少いが戀歌には比較的秀歌が多く人情の起伏、屈曲が華麗な詩想をもつて示現されてゐる。萬葉卷四の道に逢ひなましまし、からに降る雪の消なば消ぬがに戀ひもも吾妹、幼稚、單純さに較べると、起きもせず寝もせず夜を明しては春の物と眺め暮しつ(卷一、在業業平朝臣)思ひつ、腹ればや人の見えつらむ夢と知りせば覺めざらまし(卷二、小野小野)夕暮の旗手にのぞ思ふ天つ空なる人を戀ふとて(卷一、一人しらす)以上は女性的で切微を極め微妙な心の動きを詠んでゐるではないか。

次に句法の上からみると、重別れの人を送る悲しい心に、さうしてこんな工夫を廻らしてゐる余裕があらうか。「一夜や更初唯つまづき勝や日記書く鍋裏のひろり流れ水温む花に病むいらだつ心仰へつ、

はらかな氣分での教育方針を執つていただけぬものであらうか、以上は女學校への御願ひながらこれは國民學校にも通用し得ること、信ずる、要は先生方の頭が未だ完全に戦時中のま、何等の切り換へが出来てゐないことを證明する、敢へて教育者の方々の御一考を願ひたいと念する。(二父兄)

花の影湖の水輪の幾た、みカーテンの渡る、灯に柿若葉山吹や藤がぐれに山女釣る、花誘ふ風に首の肩動く、かにかくにねむくてならず選

文化リヤーカー

發賣

- A 一號型五四〇、〇〇
- A 二號型四九〇、〇〇
- B 一號型一五〇、〇〇

右條約に應じます。現品陳列し申込所
平市出町一 電三八一番

磐城物産株式會社

平市出町一 電三八一番

松屋商店

(S.P.商會 電五八番)

開業

皆様のカメラの店
長らく御不便をお掛けして濟みませんでした。遅ればせながら開店致しました。御來通し御引立下さい。平市三丁目 茂木カメラ店

近火御見舞御禮

猪狩専用線事務局長上野正臣殿
五月二十五日午後八時急逝致候葬儀ハ於テ舉行可仕候 付此ノ段紙上ヲ以テ御通知申上候
平市彌富町五三 猪狩専用線事務所 猪狩四郎

上野氏急逝

猪狩専用線事務局長上野正臣殿
五月二十五日午後八時急逝致候葬儀ハ於テ舉行可仕候 付此ノ段紙上ヲ以テ御通知申上候
平市彌富町五三 猪狩専用線事務所 猪狩四郎

野あさみ句抄

中根力男
母子草一群つゝのとびく、に汽車過ぎて畦の闇となりけり
隣みぬ時計が遣ひ夕畦
小舟一つとろりと暮し春の海
縮引欣吾
石磯玉廻り流れて虹色に
沿碧く澄み木海の花盛り
高木扇要子
げんげん、や茶わんふせある古土瓶
畦に牛空に雲雀の聲ころげ
鈴木紅葉
青みたる岬の頭雁雁歸る
ひとどける書に遺ふ春夜雨來る
草の戸の牡丹の芽にたもとほり
沈丁やさりげなくひらけたのしま
蓬蔦秋朗子
サーカスの小屋解いて居り祭あ
初唯つまづき勝や日記書く
鍋裏のひろり流れ水温む
花に病むいらだつ心仰へつ、

近火御見舞御禮

猪狩専用線事務局長上野正臣殿
五月二十五日午後八時急逝致候葬儀ハ於テ舉行可仕候 付此ノ段紙上ヲ以テ御通知申上候
平市彌富町五三 猪狩専用線事務所 猪狩四郎